

C. 検査項目および基準値

2024 年 4 月 1 日現在

ご利用の手引き

基準値の見方

①	②		③	④	⑤	⑥	⑦
検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
中性脂肪 (TG)	40～ 149*	30～ 149*	mg/dL	*脂質異常症 診断基準 高トリグリセライド 血症 ≥150 mg/dL	1～3 時間	酵素法 (GK・GPO・FG 消去)	共用基準範囲 日本動脈硬化学会：動脈硬化性 疾患診療ガイドライン 2002 年版

- ① 検査項目名称。一部()内は検査項目略称を記載しています。
- ② 測定値を評価する際のものさしとなる基準値は、基準個体(国際的に決められた定義を満たした健常人)に基づく基準範囲、学会がガイドラインなどで示す臨床判断値(診断基準値、カットオフ値、治療閾値など)それらが無いものは文献の記載値(多くは基準範囲に準じた設定値)を記してあります。
- ③ 検査結果報告値の単位を記載しています。
- ④ 基準値を設定するにあたり採用した臨床判断値を記載しています。本基準値表の数値のほとんどは基準範囲ですが、(*) の印がついたものは臨床判断値です。
- ⑤ 検査結果を報告するまでに要する時間です。
- ⑥ 検査方法名称を記載しています。
- ⑦ 基準値設定の根拠とした引用文献等を記載しています。

生化学検査

＜電解質＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
ナトリウム (Na)	138～145		mmol/L		1～3 時間	イオン電極 選択法(希釈)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
カリウム (K)	3.6～4.8		mmol/L		1～3 時間	イオン電極 選択法(希釈)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
クロール (CL)	101～108		mmol/L		1～3 時間	イオン電極 選択法(希釈)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
無機リン (Pi)	2.7～4.6		mg/dL		1～3 時間	酵素法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
カルシウム (Ca)	8.8～10.1		mg/dL		1～3 時間	酵素法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
マグネシウム (Mg)	1.8～2.3		mg/dL		1～3 時間	酵素法	(添付文書) アキュラスオート Mg

＜微量金属＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
血清鉄 (Fe)	40～188		μg/dL		1～3 時間	直接比色法(キレ ート剤: Nitroso- PSAP)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
総鉄結合能 (TIBC)	253～ 365	246～ 410	μg/dL		1～3 時間	計算法 (Fe+UIBC)	金井正光, 他: 臨床検査法提要
不飽和鉄結合能 (UIBC)	170～ 250	180～ 270	μg/dL		1～3 時間	直接比色法(キレート 剤: Nitroso-PSAP)	金井正光, 他: 臨床検査法提要
亜鉛 (Zn)	80～130		μg/dL		1～3 時間	直接比色法(キレート 剤: 5-Br-PAPS)	(添付文書) アキュラスオート Zn

＜低分子窒素化合物＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
尿素窒素 (BUN)	8.0～20.0		mg/dL		1～3 時間	ウレアーゼ・ GLDH・UV 法 (アンモニア消去)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
クレアチニン (CRE)	0.65～ 1.07	0.46～ 0.79	mg/dL		1～3 時間	酵素法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
シスタチン C	0.58～ 0.98	0.52～ 0.88	mg/L		1～3 時間	ラテックス凝集 免疫比濁法	(添付文書) ノルディアシスタチン C
尿酸 (UA)	3.7～ 7.0*	2.6～ 7.0*	mg/dL	*高尿酸血症診断 基準 >7.0 mg/dL	1～3 時間	酵素法 (ウリカーゼ・POD)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲 高尿酸血症・痛風の 治療ガイドライン
アンモニア (NH ₃)	12～66		μg/dL		0.5～1 時間	酵素法	金井正光, 他: 臨床検査法提要

<脂質関連物質>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
中性脂肪 (TG)	40～ 149*	30～ 149*	mg/dL	*脂質異常症 診断基準 高トリグリセライド 血症 ≥150 mg/dL	1～3 時間	酵素法(GK・ GPO:FG 消去)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲 日本動脈硬化学会:動脈硬 化性疾患診療ガイドライン 2002 年版
総コレステロール (TC)	142～248		mg/dL		1～3 時間	酵素法 (CE・COD)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲 添付文書の引用元: 日本動脈硬化学会:動脈硬 化性疾患診療ガイドライン 2002 年版
HDL-C	40*～ 90	40*～ 103	mg/dL	*脂質異常症 診断基準 低 HDL コレステ ロール血症 <40 mg/dL	1～3 時間	酵素法 (選択阻害法)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲 動脈硬化性疾患予防ガイドラ イン 2012 年版日本動脈硬化 学会編, p13
LDL-C	65～139*		mg/dL	*脂質異常症 診断基準 高 LDL コレステ ロール血症 ≥140 mg/dL	1～3 時間	酵素法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲 動脈硬化性疾患予防ガイドラ イン 2012 年版日本動脈硬化 学会編, p13

<酵素関連物質>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
LD	124～222		U/L		1～3 時間	IFCC 標準化対応法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
AST	13～30		U/L		1～3 時間	JSCC 標準化対応法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
ALT	10～42	7～23	U/L		1～3 時間	JSCC 標準化対応法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
CK	59～248	41～153	U/L		1～3 時間	JSCC 標準化対応法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
CK-MB 蛋白量	0～5		ng/mL		1～3 時間	ラテックス凝集 免疫比濁法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
ALP	38～113		U/L		1～3 時間	IFCC 標準化対応法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
γ-GT	13～64	9～32	U/L		1～3 時間	JSCC 標準化対応法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
コリンエステラー ゼ(ChE)	240～ 486	201～ 421	U/L		1～3 時間	JSCC 標準化対応法 (基質:p-ヒドロキ シベンゾイル コリン)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
アミラーゼ(AMY)	44～132		U/L		1～3 時間	JCCLS 標準化対応法 (基質:エチリデン -G7PNP)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
P-AMY	15～50		U/L		1～3 時間	免疫阻害法(基 質:エチリデン- G7PNP)	金井正光, 他: 臨床検査法提要
LIP	13～55		U/L		1～3 時間	合成基質 比色法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
LD アイソザイム					2～5 日	アガロース 電気泳動法	(添付文書) タイタン ジェル S-LD 試薬
LD1%	20.0～31.0		%				
LD2%	28.8～37.0		%				
LD3%	21.5～27.6		%				
LD4%	6.3～12.4		%				
LD5%	5.4～13.2		%				
ALP アイソザイム					2～5 日	アガロース 電気泳動法	(添付文書) クイック EP BAP-IF 試薬
ALP2(肝型)	29.3～67.9		%				
ALP3(骨型)	26.9～67.6		%				
ALP5(小腸型)	0.0～18.1		%				

＜生体色素＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
総ビリルビン (T-BIL)	0.4～1.5		mg/dL		1～3 時間	酵素法(ビリルビ ンオキシダーゼ)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
直接ビリルビン (D-BIL)	0.0～0.2		mg/dL		1～3 時間	酵素法(ビリルビ ンオキシダーゼ)	(添付文書) イアトロ LQ D-BIL (A)
間接ビリルビン (I-BIL)	0.0～0.8		mg/dL		1～3 時間	計算法	金井正光, 他: 臨床検査法提要

<蛋白・膠質反応>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
総蛋白 (TP)	6.6～8.1		g/dL		1～3 時間	ビュレット法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
アルブミン (ALB)	4.1～5.1		g/dL		1～3 時間	BCP 改良法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
A/G	1.32～2.23				1～3 時間		日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
トランスサイレチ ン (TTR)	22.0～40.0		mg/dL		1～3 時間	免疫比濁法 (TIA)	(添付文書) N-アッセイ TIA プ レアルブミンニットーボー
蛋白分画							(添付文書) クイックジェル 血清蛋白分画測定操作法
ALB-F%	54.8～65.4		%		翌日	アガロース 電気泳動法	
α 1G-F%	2.3～3.8		%		翌日	アガロース 電気泳動法	
α 2G-F%	5.0～8.9		%		翌日	アガロース 電気泳動法	
β G-F%	9.0～14.6		%		翌日	アガロース 電気泳動法	
γ G-F%	13.2～23.9		%		翌日	アガロース 電気泳動法	
ALB 量	3.94～4.84		g/dL		翌日	アガロース 電気泳動法	
α 1-G 量	0.16～0.27		g/dL		翌日	アガロース 電気泳動法	
α 2-G 量	0.36～0.63		g/dL		翌日	アガロース 電気泳動法	
β -G 量	0.64～1.04		g/dL		翌日	アガロース 電気泳動法	
γ -G 量	0.90～1.81		g/dL		翌日	アガロース 電気泳動法	

<糖質関連物質>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
血糖 (FBS)	73～109		mg/dL		0.5～1 時間	GOD 酸素電極法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
HbA1c (NGSP)	4.9～6.4*		%	*糖尿病診断基準 糖尿病型 ≥ 6.5 %	0.5～1 時間	高速液体クロマト グラフィ法 (HPLC)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲 日本糖尿病学会糖尿病診療 ガイドライン 2019
グリコアルブミン (GA)	11.0～16.0		%		1～3 時間	酵素法	(添付文書) ルシカ GA-L

免疫検査

＜血漿蛋白など＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
CRP	0～0.14		mg/dL		1～3 時間	ラテックス比濁法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
プロカルシトニン (PCT)	0～0.49*		ng/mL	*敗血症鑑別診断 ≥0.5 ng/mL	1～3 時間	電気化学発光免 疫測定法(ECLIA)	(添付文書)エクルーシス試薬 プ ラームス PCT Meisner,M.Procalcitonin(PCT)-A new innovative infection parameter. Biochemical and clinical.aspects. Thieme Stuttgart New York.2000, ISBN:3-13-105503-3 Clinical and Laboratory Standards Institute. Evaluation of Detection Capability for Clinical Laboratory Measurement Procedure. CLSI Document EP17-A2. Wayne, PA: CLSI;2012
KL-6	0～499*		U/mL	*間質性肺炎診断 ≥500 U/mL	1～3 時間	ラテックス凝集 免疫比濁法	(添付文書)ナノピア KL-6
SP-D	0～109*		ng/mL	*間質性肺炎診断 ≥110 ng/mL	1～3 時間	ラテックス 免疫比濁法	(添付文書)ナノピア SP-D
RF	0～14*		IU/mL	*関節リウマチ診断 ≥15 IU/mL	1～3 時間	ラテックス凝集 免疫比濁法	(添付文書) LZ テスト‘栄研’RF リウマトイド因子標準化のガ イドライン(日本臨床検査標 準化協議会認証)
MMP-3	36.9～ 121	17.3～ 59.7	ng/mL		1～3 時間	ラテックス凝集 免疫比濁法	(添付文書)パナクリア MMP- 3(ラテックス)
C3	73～138		mg/dL		1～3 時間	免疫比濁法(TIA)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
C4	11～31		mg/dL		1～3 時間	免疫比濁法(TIA)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
CH50	31.6～57.6		U/mL		1～3 時間	リボソーム免疫 測定法	(添付文書) 補体価-HA テストワコー
IgG	861～1747		mg/dL		1～3 時間	免疫比濁法(TIA)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
IgA	93～393		mg/dL		1～3 時間	免疫比濁法(TIA)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
IgM	33～183	50～269	mg/dL		1～3 時間	免疫比濁法(TIA)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
総 IgE	0～232		IU/mL		1～3 時間	電気化学発光免 疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 IgE
β2-ミクログロ ブリン	0.9～2.0		μg/mL		1～3 時間	ラテックス凝集 免疫比濁法	(添付文書) LZ テスト‘栄研’β2-M

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
フェリチン	13～277	5～152	ng/mL		1～3 時間	ラテックス凝集 免疫比濁法	(添付文書) LZ テスト‘栄研’FER
NT-proBNP	0～124*		pg/mL	*心不全診断 ≥125 pg/mL	1～3 時間	電気化学発光免 疫測定法(ECLIA)	(添付文書)エクルーシス試 薬 NT-proBNP
トロポニン T	0～0.014		ng/mL		1～3 時間	電気化学発光免 疫測定法(ECLIA)	(添付文書)エクルーシス試 薬 トロポニン T hs
TARC	0～450 15 歳以上 0～743 2 歳以上 15 歳未満 0～998 1 歳以上 2 歳未満 0～1367 6 ヶ月以 上 12 ヶ月未満		pg/mL		1～3 時間	化学発光酵素免 疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL TARC 試薬

<腫瘍関連>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
CEA	0～5.0*		ng/mL	*腫瘍性疾患の 補助診断 >5.0 ng/mL	1～3 時間	電気化学発光 免疫測定法 (ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 CEA II
CA19-9	0～37*		U/mL	*腫瘍性疾患の 補助診断>37U/mL	1～3 時間	電気化学発光 免疫測定法 (ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 CA19-9
CA125	0～35*		U/mL	*腫瘍性疾患の 補助診断>35U/mL	1～3 時間	電気化学発光 免疫測定法 (ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 CA125
CA15-3	0～25*		U/mL	*腫瘍性疾患の 補助診断 >25 U/mL	1～3 時間	電気化学発光 免疫測定法 (ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 CA15-3
AFP	0～10*		ng/mL	*腫瘍性疾患の 補助診断 >10 ng/mL	1～3 時間	電気化学発光 免疫測定法 (ECLIA)	金井正光, 他: 臨床検査法提要
PSA	0～4.00*		ng/mL	*腫瘍性疾患の 補助診断 >4.00 ng/mL	1～3 時間	電気化学発光 免疫測定法 (ECLIA)	日本泌尿器科学会編集: 前 立腺がん検診ガイドライン 2018 年版
SCC	0～2.5*		ng/mL	*腫瘍性疾患の 補助診断 >2.5 ng/mL	1～3 時間	電気化学発光 免疫測定法 (ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 SCC
NSE	0～16.3*		ng/mL	*腫瘍性疾患の 補助診断 >16.3 ng/mL	1～3 時間	電気化学発光 免疫測定法 (ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 NSE
シフラ	0～3.5*		ng/mL	*腫瘍性疾患の 補助診断 >3.5 ng/mL	1～3 時間	電気化学発光 免疫測定法 (ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 シフラ 21-1
ProGRP	0～75*		pg/mL	*腫瘍性疾患の 補助診断 >75 pg/mL	1～3 時間	電気化学発光 免疫測定法 (ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 ProGRP
PIVKA-II	0～39*		mAU/mL	*腫瘍性疾患の 補助診断 ≥40 mAU/mL	1～3 時間	化学発光酵素 免疫測定法 (CLEIA)	(添付文書) HISCL PIVKA-II 試薬

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
AFP-L3	0～10*		%	*腫瘍性疾患の 補助診断 >10%	1～4 日	LBA-EATA 法	(添付文書) ミュータスワコー AFP-L3
可溶性 IL-2 レセ プター	122～496		U/mL		1～3 時間	ラテックス凝集 免疫比濁法	(添付文書) ナノピア IL-2R
M2BPGi	0～0.99*		C.O.I.	*肝線維化診断 ≥1.00 C.O.I	1～3 時間	化学発光酵素免 疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL M2BPGi 試薬

＜感染症関連＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
HBs 抗原	(－):<0.03 (＋):≥0.03		IU/mL	感染症診断(HBV)	1～3 時間	化学発光酵素免 疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL HBsAg 試薬
HBs 抗体	(－):<5.0 (＋):≥5.0		mIU/mL	感染症診断(HBV)	1～3 時間	化学発光酵素免 疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL HBsAb 試薬
HBe 抗原	(－):<1.0 (＋):≥1.0		C.O.I.	感染症診断(HBV)	1～3 時間	化学発光酵素免 疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL HBeAg 試薬
HBe 抗体	(－):<50.0 (＋):≥50.0		inh.%	感染症診断(HBV)	1～3 時間	化学発光酵素免 疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL HBeAb 試薬
HBc 抗体	(－):<1.0 (＋):≥1.0		C.O.I.	感染症診断(HBV)	1～3 時間	化学発光酵素免 疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL HBcAb 試薬
HCV 抗体	(－):<1.0 (±):1.0～5.0 未 満 (＋):≥5.0		C.O.I.	感染症診断(HCV)	1～3 時間	化学発光酵素免 疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL HCVAb 試薬
TP 抗体	(－):<1.0 (＋):≥1.0		C.O.I.	感染症診断(梅毒)	1～3 時間	化学発光酵素免 疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL TPAb試薬
梅毒沈降反応 定性	(－)				1～3 時間	ラテックス凝集免 疫比濁法	
梅毒沈降反応 定量	<1.0		RPR U	感染症診断(梅毒)	1～3 時間	ラテックス凝集免 疫比濁法	(添付文書)メディエース RPR
HIV 抗原・抗体	(－):<1.0 要精査:≥1.0		C.O.I.	感染症診断(HIV)	1～3 時間	化学発光酵素免 疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL HIVAg+Ab 試薬
HTLV-1 抗体	(－):<1.0 (＋):≥1.0		C.O.I.	感染症診断 (HTLV-1)	1～3 時間	化学発光酵素免 疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL HTLV- I Ab 試薬
SARS-CoV-2 抗体 (N)	(＋):≥1.0		C.O.I.	感染症診断 (COVID-19)	翌日 まで	電気化学発光免 疫測定法(ECLIA)	(添付文書)Elecys Anti-SARS-CoV-2 RUO
SARS-CoV-2 抗体 (S)	(＋):≥0.8		U/mL	感染症診断 (COVID-19)	翌日 まで	電気化学発光免 疫測定法(ECLIA)	(添付文書)Elecys Anti-SARS-CoV-2 S RUO

＜その他＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
エンドトキシン	<5.0		pg/mL	感染症診断 (GNR・真菌症)	2～4 時間	比濁時間分析法	(添付文書) エンドトキシン テストワコー

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
β -D-グルカン	<11.0		pg/mL	感染症診断 (真菌症)	2~4 時間	比濁時間分析法	(添付文書) β -グルカン テストワコー

内分泌検査

<甲状腺関連>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
FT3	2.3~4.0		pg/mL		1~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクレーシス試薬 FT3Ⅲ
FT4	0.9~1.7		ng/dL		1~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクレーシス試薬 FT4Ⅳ
TSH	0.61~4.23		mIU/L		1~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	日本臨床検査医学会標準化委員会. 甲状腺刺激ホルモン(TSH)値のハーモナイゼーションについて https://www.jslm.org/committees/standard/20200130TSH.pdf
サイログロブリン	0~33.7		ng/mL		1~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクレーシス試薬 TgⅡ
TRAb	0~1.9*		IU/L	*自己免疫性甲状腺疾患診断 >2.0 IU/L	1.5~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクレーシス試薬 TRAb
TgAb	0~27*		IU/mL	*自己免疫性甲状腺疾患診断 >28 IU/mL	1~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクレーシス試薬 Anti Tg
TPOAb	0~15*		IU/mL	*自己免疫性甲状腺疾患診断 >16 IU/mL	1~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクレーシス試薬 Anti TPO

<性腺・胎盤関連>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
LH	2.2~8.4	卵泡期 1.4~15.0 排卵期 8.0~100.0 黄体期 0.5~15.0 閉経後 11.0~50.0	mIU/mL		1~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクレーシス試薬 LH
FSH	1.8~12.0	卵泡期 3.0~10.0 排卵期 5.0~24.0 黄体期 1.3~6.2 閉経後	mIU/mL		1~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクレーシス試薬 FSHⅡ

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別(臨床判断)	報告時間	方法	参考文献
	男性	女性					
		26.0～120.0					
プロラクチン (PRL)	4～14	閉経前 5～29 閉経後 3～15	ng/mL		1～3時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書)エクルーシス試薬 プロラクチン
エストラジオール (E2)	15～49	卵胞期 29～197 排卵期 36～526 黄体期 44～492 閉経後 ≤47	pg/mL		1～3時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書)エクルーシス試薬 E2IV
プロゲステロン	≤0.2	卵胞期 ≤0.3 排卵期 ≤5.7 黄体期 2.1～24.2 閉経後 ≤0.3	ng/mL		1～3時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書)エクルーシス試薬 プロゲステロンⅢ
テストステロン	131～871	閉経前 11～47 閉経後 4～43	ng/dL		1～3時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書)エクルーシス試薬 テストステロンⅡ

＜その他＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別(臨床判断)	報告時間	方法	参考文献
	男性	女性					
インシュリン	≤18.7		μU/mL		1～3時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書)エクルーシス試薬 インスリン
C-ペプチド	0.8～2.5		ng/mL		1～3時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書)エクルーシス試薬 C-ペプチド
コルチゾール	午前 6 時～10 時: 7.1-19.6 午後 4 時～8 時: 3.0-9.8		μg/dL		1～3時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書)エクルーシス試薬 コルチゾールⅡ
I-PTH	13.9～78.5		pg/mL		1～3時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書)エクルーシス試薬 PTH
ACTH	7.2～63.3		pg/mL		1～3時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書)エクルーシス試薬 ACTH
GH	≤2.47	0.13～9.88	ng/mL		1～3時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書)エクルーシス試薬 hGH 文書図中 男性 20-79 歳、 女性 21-77 歳の 参考基準範囲採用
ソマトメジン C	表 1. 参照		ng/mL		1～3時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書)エクルーシス試薬 IGF-1

表 1. 日本人の性別、年齢別の血中ソマトメジン C (IGF-1) 基準範囲

年齢	男性	女性	年齢	男性	女性
0	11～149	15～154	39	95～266	100～250
1	14～148	23～186	40	94～263	98～245
2	18～154	32～213	41	94～261	95～240
3	24～164	40～227	42	93～259	93～236
4	32～176	48～238	43	92～257	90～233
5	44～193	56～252	44	92～255	88～229
6	55～215	69～287	45	91～253	87～226
7	63～247	89～357	46	90～250	85～224
8	72～292	111～438	47	90～250	83～221
9	84～350	133～517	48	89～248	82～219
10	99～423	155～588	49	88～246	81～218
11	113～499	175～638	50	87～245	80～216
12	125～557	188～654	51	87～243	79～215
13	133～579	193～643	52	86～242	78～213
14	138～570	193～625	53	85～240	77～212
15	141～552	192～614	54	84～239	76～211
16	142～543	192～611	55	84～238	75～210
17	142～540	191～599	56	83～237	74～208
18	142～526	188～574	57	82～236	73～207
19	143～501	182～539	58	81～235	72～205
20	142～470	175～499	59	80～233	71～203
21	139～436	168～459	60	79～232	70～201
22	135～405	161～425	61	77～230	69～198
23	131～379	155～397	62	76～228	68～196
24	128～356	151～375	63	75～226	66～194
25	125～337	147～358	64	73～224	65～191
26	119～329	146～336	65	72～221	64～188
27	116～322	141～328	66	70～219	62～186
28	114～315	137～320	67	68～216	61～183
29	111～309	133～312	68	66～213	60～180
30	109～303	129～304	69	65～209	59～177
31	107～297	126～297	70	63～206	57～175
32	105～292	122～290	71	61～202	56～172
33	103～287	119～283	72	58～198	55～170
34	102～283	115～277	73	56～194	54～167
35	100～279	112～271	74	54～190	53～165
36	99～275	109～265	75	52～185	52～163
37	97～272	106～260	76	50～181	50～160
38	96～269	103～254	77	48～177	49～158

血液検査

<血液一般・形態>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別(臨床判断)	報告時間	方法	参考文献
	男性	女性					
白血球数	3300～8600		/ μ L		0.5～3時間	フローサイトメトリー	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
赤血球数	435～555	386～492	$\times 10^4$ / μ L		0.5～3時間	電気抵抗法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
ヘモグロビン濃度	13.7～16.8	11.6～14.8	g/dL		0.5～3時間	SLS 法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
ヘマトクリット値	40.7～50.1	35.1～44.4	%		0.5～3時間	電気抵抗法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
血小板数	15.8～34.8		$\times 10^4$ / μ L		0.5～3時間	電気抵抗法またはフローサイトメトリー	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
MCV	83.6～98.2		fL		0.5～3時間	計算法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
MCH	27.5～33.2		pg		0.5～3時間	計算法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
MCHC	31.7～35.3		g/dL		0.5～3時間	計算法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
網赤血球数	0.8～2.2		%		0.5～3時間	フローサイトメトリー	金井正光, 他: 臨床検査法提要
血液像						フローサイトメトリーまたは目視算定法	JSLH(日本検査血液学会) 血球形態標準化 WG
好中球	38.5～80.5		%		0.5～3時間		
桿状核球	0.5～6.5		%		2時間～翌日		
分葉核球	38.0～74.0		%		2時間～翌日		
リンパ球	16.5～49.5		%		0.5～3時間		
単球	2.0～10.0		%		0.5～3時間		
好酸球	0.0～8.5		%		0.5～3時間		
好塩基球	0.0～2.5		%		0.5～3時間		

<血液凝固関連>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
PT	10.0~13.0		sec		30~40 分	光散乱凝固点 検出方式	凝固検査基準範囲
PT(%)	70~130		%		30~40 分	計算法	
PT-INR	0.80~1.20				30~40 分	計算法	
APTT	24.0~36.0		sec		30~40 分	光散乱凝固点 検出方式	凝固検査基準範囲
APTT(%)	70~130		%		30~40 分	計算法	
フィブリノゲン量	178~360		mg/dL		30~40 分	光散乱凝固点 検出方式	凝固検査基準範囲
FDP-D ダイマー	<1.0		μg/mL		30~40 分	ラテックス比濁法	凝固検査基準範囲
アンチトロンビン	84~128		%		30~40 分	合成基質法	凝固検査基準範囲
プラスミノゲン	78~120		%		30~40 分	合成基質法	凝固検査基準範囲
可溶性フィブリン (SF)	<2.3		μg/mL		30~40 分	ラテックス比濁法	凝固検査基準範囲

<白血球表面抗原>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
CD4/CD8 比	0.4~2.3				0.5~1 時間	フローサイトメ トリによる直接 免疫蛍光法	金井正光, 他: 臨床検査法提要

<血沈>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
血沈 (1 時間値)	2~10	3~15	mm			Westergren 法 に基づく方法	金井正光, 他: 臨床検査法提要

一般検査

<尿定性>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
尿定性							(添付文書)ウロペーパー α Ⅲ ‘栄研’ (添付文書)ウロペーパー Ⅲ ‘栄研’

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
尿蛋白	(－)				5～15 分	試験紙法 (蛋白誤差)	
尿糖	(－)				5～15 分	試験紙法(GOD)	
尿 pH	4.5～7.5				5～15 分	試験紙法 (pH 指示薬)	
尿ケトン体	(－)				5～15 分	試験紙法(ニトロ プルシド Na)	
尿ウロビリノーゲ ン	(±)				5～15 分	試験紙法(ジア ゾ・カップリング)	
尿ビリルビン	(－)				5～15 分	試験紙法(ジア ゾ・カップリング)	
尿潜血	(－)				5～15 分	試験紙法 (Hb 接触活性)	
尿亜硝酸塩還元	(－)				5～15 分	試験紙法 (グリース法)	
尿白血球	(－)				5～15 分	試験紙法(白血 球エステラーゼ 活性法)	
尿比重	1.005～1.030				5～15 分	反射型屈折率測 定法 または試験紙法 (陽イオン抽出 法)	
尿沈渣							尿沈渣検査法 2010, 社団法人日本臨床衛生検査技師会 2011.
赤血球	<5		/HPF		1～3 時 間	鏡検	
白血球	<5		/HPF		1～3 時 間	鏡検	

<尿中有形成分定量>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
尿中有形成分 定量							
赤血球粒子数	<20.0		/μL		30～60 分	フローサイト メトリー	血尿診断ガイドライン 2013
白血球粒子数	<27.7		/μL		30～60 分	フローサイト メトリー	尿沈渣検査法 2010, 社団法人日本臨床衛生検査技師会 2011.
細菌数	(－)				30～60 分	フローサイト メトリー	

<便検査>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
便脂肪	(－)				当日	ズダンⅢ染色	金井正光, 他: 臨床検査法提要
便中ヘモグロビン	<100		ng/mL		当日	ラテックス凝集反 応(免疫比濁法)	(添付文書) OC-ヘモディアオート S ‘栄研’

<髄液検査>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
細胞数	≤5		/μL		当日	Fuchs-Rosenthal 法	一般社団法人日本臨床衛生 検査技師会: JAMT 教本シリ ーズ 髄液検査技術教本: 2015
糖定量	50～75		mg/dL		当日	GOD 酸素電極法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
蛋白定量	10～40		mg/dL		当日	ピロガロール レッド法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
クロール定量	120～125		mmol/L		当日	イオン電極 選択法(希釈)	金井正光, 他: 臨床検査法提要

<関節液結晶>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
尿酸ナトリウム 結晶	(－)				1～3 時間	鏡検	金井正光, 他: 臨床検査法提要
ピロリン酸カルシ ウム結晶	(－)				1～3 時間	鏡検	金井正光, 他: 臨床検査法提要
コレステロール 結晶	(－)				1～3 時間	鏡検	金井正光, 他: 臨床検査法提要

<妊娠反応>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
HCG 定性	(－)*			*妊娠診断の補助 尿中 HCG 25 mIU/mL 未満に 相当	40～60 分	イムノクロマト法	(添付文書)HCGテストパック・ プラスOBC
HCG 定量	血清: 0.0～5.0 尿: 0.0～3.0		mIU/mL		1～3 時間	電気化学発光免 疫測定法(ECLIA)	(添付文書)エクルーシス試薬 HCG II STAT

尿定量検査

＜尿中成分定量＞

検査項目	基準値		単位	採用した病 態識別(臨 床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
24 時間尿量	600～1600		mL/day				金井正光, 他: 臨床検査法提要
尿蛋白 1 日量	20～120		mg/day		30～60 分	ピロガロールレッド法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
尿糖 1 日量	40～85		mg/day		30～60 分	酵素法 (ヘキシキナーゼ)	金井正光, 他: 臨床検査法提要
尿中クレアチニン 1 日量	500～1500		mg/day		30～60 分	酵素法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
尿中尿酸 1 日量	400～800		mg/day		30～60 分	酵素法 (ウリカーゼ・POD)	金井正光, 他: 臨床検査法提要
尿中ナトリウム 1 日量	125～250		mmol/day		30～60 分	イオン電極選択法 (希釈)	金井正光, 他: 臨床検査法提要
尿中カリウム 1 日量	50～100		mmol/day		30～60 分	イオン電極選択法 (希釈)	金井正光, 他: 臨床検査法提要
尿中クロール 1 日量	70～250		mmol/day		30～60 分	イオン電極選択法 (希釈)	金井正光, 他: 臨床検査法提要
尿中カルシウム 1 日量	100～300		mg/day		30～60 分	酵素法	(添付文書) アキュラスオート Ca II
尿中無機リン 1 日量	400～800		mg/day		30～60 分	酵素法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
尿中尿素窒素 1 日量	6500～13000		mg/day		30～60 分	酵素法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
尿中アミラーゼ	80～550		U/L		30～60 分	JCCLS 標準化対応法 (基質: エチリデン- G7PNP)	前川真人, 他: 標準臨床検査学臨床化学
尿中アルブミン	<30		mg/g・Cr		30～60 分	ラテックス凝集 免疫比濁法	(添付文書) LZ テスト`栄研`U-ALB
尿中 β 2-マイクロ グロブリン	≤ 289		$\mu\text{g/L}$		30～60 分	ラテックス凝集 免疫比濁法	(添付文書) LZ テスト`栄研` β 2-M
尿中 C-ペプチド 1 日量	23～155		$\mu\text{g/day}$		1～3 時間	電気化学発光免疫 測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 C ペプチド

血液ガス検査

<血液ガス>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別(臨床判断)	報告時間	方法	参考文献
	男性	女性					
pH	7.35～7.45				即時	電位差測定法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
PCO ₂	35～45		mmHg		即時	電位差測定法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
PO ₂	80～100		mmHg		即時	電流測定法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
HCO ₃ ⁻	22.5～ 26.9	21.8～ 26.2	mmol/L		即時	計算法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
SO ₂	94～99		%		即時	計算法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
BE	-2.0～2.0		mmol/L		即時	計算法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
Ca ²⁺	1.15～1.30		mmol/L		即時	電位差測定法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
Lac	0.4～1.8		mmol/L		即時	電流測定法	金井正光, 他: 臨床検査法提要